



# 東小だより

横浜市立東山田小学校

学校だより7月号②

令和2年7月15日発行

TEL (594) 4851

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashiyamata/>

## 挨拶と笑顔の力



副校長 木村 政己

梅雨の合間に初夏の日差しが眩しく、木々の緑も鮮やかに輝く季節となりました。校内の畑のミニトマト、ナス、ピーマン、キュウリなどの夏野菜が彩り豊かに実ってきました。

学校再開から1ヶ月半がたちました。分散登校から時差登校へとステップを踏み、7月からは給食も始まりました。子ども達から「体育楽しかったなあ。」「お腹減ったなあ。」「やっぱり給食はおいしいな。」という素直な声がどこからともなく聞こえてきます。徐々に本来の学校生活の様子に戻りつつあります。休み時間は職員室から、どの学年も遊び方を工夫しながら校庭で楽しそうに元気に遊んでいる姿が見られます。そんな今までだと当たり前前の光景を、新しい学校の生活様式の中で、改めて見られることに幸せを感じております。

4月7日の始業式の朝、門の前である女子児童がニコッと笑顔で元気に挨拶をしてくれました。その挨拶ひとつが赴任したばかりの慣れない環境で緊張していた心をとかしてくれて、とてもリラックスした気持ちになりました。そして、同時に東山田小学校の子ども達に受け入れられ、仲間になれた気がしました。

学生時代、恩師にスポーツや武道の試合の前と後にどうして挨拶をするのか考えたことがありますか？と聞かれたことがあります。「よろしくお願いします。」「ありがとうございました。」という気持ちを表すためと答えた記憶があります。スポーツ、武道の世界では、相手がいてはじめて試合が成立します。相手がいないければ試合は成立しません。対戦してくださる試合相手の方へ感謝の気持ちと相手に敬意を表す意味も含まれていることを教わりました。挨拶をすることは、その人を認識し、受け入れるということです。これは、相手の人権を尊重する第一歩だと思います。

6月からは、1週間ごとに正門と南門の横断歩道に交互に立ち、毎日、子ども達と挨拶を交わしています。当初は、どこか緊張している様子で遠慮がちな挨拶でしたが、毎日、挨拶を交わすことで、徐々に子ども達の表情もほぐれ、今では「副校長先生、おはようございます。」と笑顔で元気に挨拶をする児童が増えてきました。

挨拶と笑顔には相手を安心させ、人の心に活力を与える力があります。挨拶を大切にし、相手を思いやることのできる心豊かで笑顔があふれる子ども達を育てていきたいと思っております。

夏休みまでの残り2週間、感染防止に努めながら子ども達と共に充実した学校生活を過ごしていきたいと思っております。引き続き保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

